

## 令和5年度第2回厚木市子ども育成推進委員会会議録

日時 令和5年10月17日（火）午後2時00分から午後3時50分まで

場所 第二庁舎 16階会議室B

出席者：子ども育成推進委員10人、こども未来部長、こども育成課長、こども政策係長、こども政策係担当者

傍聴者：なし

委員10人中10人出席（過半数）により会議は成立。

会議の経過は次のとおり。

### 1 開会

こども育成課長

### 2 委員長あいさつ

山本委員長

### 5 案件

#### (1) あつぎ子ども未来プランについて

あつぎ子ども未来プラン（第4期）策定に向けてのニーズ調査の実施について  
事務局から資料に基づき説明

#### 【質疑等】

委員：児童・生徒用の調査票について、設問内容や選択肢に否定的な内容が多く、回答者に厳しい印象を与えらると思うが、修正等が必要ではないか。

委員：調査項目の設定意図について説明してほしい。

事務局：設問については、国で実施した実態調査の設問と同じ形式をとっている。調査結果について、比較検討することを考えている。

委員：回答内容によっては、保護者が子どもの回答を誘導する可能性はないか。

事務局：調査票の案内文に、本人が記入し家族等に内容を見せないよう記載する。保護者への案内文についても、調査の趣旨説明と併せて、本人に回答していただくよう案内する。

委員：保護者向けの調査と子ども向けの調査が同一家庭に重複しないか。

事務局：調査対象者を抽出する際に重複する家庭は除外するため問題ない。

委員：調査票の回収率の見込みは。

事務局：前回、前々回の調査と同様の40%程度を見込んでいます。

委員長：教育に携わってきた委員には、設問内容にネガティブな内容が多く含まれることに拒否感があると思うが、調査結果を受けて、どう対応していくかが重要であるため、前向きにとらえてほしい。

委員：子どもが回答することを考えると、否定的な設問を肯定的な形に変更できないか。

委員：設問の選択肢の文言や順番も国の調査と同様なのか。

事務局：設問の選択肢の文言や順番も合わせてあるため、一部分の変更が調査結果に影響があることを考えると、変更は難しいと考える。

委員長：調査結果の比較を前提とした場合、ニュアンスの変更は結果に影響がある。一方で、回答者が子どもであることを考えた対応も必要。

事務局：設問の一部分の修正は難しいが、設問自体を別の設問に置き換えることは問題ないと考える。

委員：関連性のある設問もあるため、修正するには精査が必要

委員長：時間的な問題もあるが、対応は可能か

事務局：修正後に修正内容がわかる形でお示しする。

## 6 その他

事務局から次回会議の開催予定等について説明

## 7 閉会

山本委員長あいさつ

以上